

令和３年度 第２期岩国市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

令和４年５月

岩国市（山口県）

○計画期間：令和２年４月～令和７年３月（５年）

Ⅰ．中心市街地全体に係る評価

１．令和３年度終了時点（令和４年３月３１日時点）の中心市街地の概況

本市は、令和２年２月に、新たに第２期岩国市中心市街地活性化基本計画を策定。第１期計画での効果を活かしながら、明らかとなった課題を解消するために、『みんなが考え、みんなが進める、みんなに優しいまちづくり』を基本テーマに掲げ、官民協働で事業を推進している。

これまで推進してきた計画事業のうち、今年度、「岩国駅西口周辺拠点施設整備検討事業」は、新たに岩国駅前南地区市街地再開発事業に着手したため、「岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業」に事業名を変更。また、岩国駅前南地区市街地再開発事業予定地に、図書館機能を核としたにぎわい創出拠点施設を整備するため、「岩国駅周辺にぎわい創出施設整備事業」を新たに追加。これにより、計画事業は、これまでの２７事業から２８事業となり、今まで以上に、まち全体の集客力および回遊性の向上やにぎわい創出に繋げる。

岩国駅周辺では、「岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業」及び「英語交流のまち推進センター整備事業」が令和４年３月に完成し、まちなか居住や交流人口が増加し、にぎわいの創出に繋がることが見込まれる。

また、西口駅前広場では、既存のサポーターベンチのうち、３か所に平成の架け替え工事で解体した錦帯橋の橋板を使用し、座面を設置。バスを待つ市民から評価を得た。

商店街周辺に関してみると、新型コロナウイルスの感染者数は増加と減少を繰り返し、依然として感染拡大に予断を許さない状況下で、昨年度に引き続き、多くの事業者が、厳しい経営を強いられ、閉店に追い込まれた店舗も現れた結果、空き店舗は増加し、事業所数も減少した。

しかし、そうした中でも、感染防止対策を取りつつ、事業継続に奮起している店舗も、多くあり、まちなか再生事業の申請件数についても、対象工事等も見直した関係もあり、昨年度に比べ増加しており、新規出店者も増加している。イベント開催件数も、昨年度に比べ増加していることから、来年度は、徐々に、賑わいや経済が回復していくことが見込まれる。

中心市街地の活性化を中心となって推進していく第三セクターの株式会社街づくり岩国においては、経済産業省の「地域商業機能複合化推進事業」を活用し、働く場としてのレンタルオフィスとまちの将来の未来像を描いたグランドデザインの実現のために活動する「岩国くらす」の拠点としての機能を併せ持つ「いわくにワークスペース Class Labo」を開設。また、平日/休日別・性別・年代別・時間帯別に人流が計測できるＡＩカメラを、中心市街地内の２箇所に設置し、データに基づくまちづくり活動を推進していく体制を整えた。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地）		平成30年度 （基準値）	令和元年度 （計画年度）	令和2年度 （1年目）	令和3年度 （2年目）
人 口		4,658 人	4,714 人	4,693 人	4,610 人
内 訳	年 少	541 人	544 人	528 人	526 人
	生 産	3,014 人	3,069 人	3,049 人	2,956 人
	老 年	1,103 人	1,101 人	1,119 人	1,128 人
人口増減数		121 人	56 人	△21 人	△83 人

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
魅力と個性あふれる持続可能な商業空間の創出	①小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）	216 店舗 （H30）	230 店舗 （R6）	203 店舗 （R3）	C	④	③
〃	②本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率	14.7% （H30）	12.2% （R6）	17.4% （R3）	C	④	③
多くの人が集まり、楽しみ、暮らせる快適な生活空間の創出	③歩行者等通行量（平日）	15,361 人 （H30）	15,900 人 （R6）	9,123 人 （R3）	C	④	③
〃	④歩行者等通行量（休日）	13,823 人 （H30）	13,700 人 （R6）	7,529 人 （R3）	C	③	③
〃	⑤居住人口	4,658 人 （H30）	4,719 人 （R6）	4,610 人 （R3）	C	①	①

＜基準値からの改善状況＞

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）については、令和元年度末より、国内外で感染が拡大した新型コロナウイルスは、令和3年度も拡大と収束を繰り返し、市民生活に大きな影響を及ぼした。中心市街地においても、感染抑制のための外出自粛に伴う来街者の減少や、県内初となる「山口県まん延防止等重点措置」地区に指定されたことによる営業時間の短縮等により、多くの事業者が経済的影響を受け、中には休業や廃業を余儀なくされる店舗まで現れた結果、事業所数は減少した。

しかし、コロナ禍においても、感染防止対策に努めながらの営業や小規模なイベントも開催されるなど、工夫をしながらウイズコロナ社会に適応しつつあり、創業についても、「まちなか再生事業」（空き店舗活用助成事業、まちなか店舗魅力向上助成事業、まちなかりノベーション助成事業、まちなか商業施設等建築促進助成事業の総称）の申請件数や「まちなか経営技術強化支援事業」の利用件数は、昨年度より増加しており、来街者の増加による賑わい回復の兆しがあることから、目標達成可能と見込んでいる。

②の本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、消費者の外出の自粛等に伴う各店舗の営業収益の大幅な減少により、閉店に追い込まれた店舗もあり、空き店舗率は増加している。しかし、商店街内での創業等による「まちなか再生事業」の申請件数は、昨年度に比べ、増加しており、感染にまだまだ予断を許さない状況下ではあるが、ワクチン接種も進み、「新しい生活様式」を取り入れた活動が普及していることもあり、全体的に落ち着きを取り戻しつつあるため、今後も、「まちなか再生事業」の申請の増加が予想され、目標達成は可能と見込んでいる。

③・④の歩行者等通行量については、新型コロナウイルス感染への不安に伴う不要不急の外出自粛の影響や、通行量調査期間が、「山口県まん延防止等重点措置」期間と重なったこともあり、通行量は減少という結果となった。しかし、「まちなか再生事業」の申請件数は増加しており、創業者等は増加傾向にあり、また、イベント件数をみると、ウイズコロナ社会の中で、感染防止対策と社会経済活動の両立という「新しい日常」が徐々に浸透してきたこともあり、昨年度に比べ、令和3年度は増加しており、来年度も、引き続き、感染状況を注視しつつ、イベント活動は増加し、それに伴い、徐々に通行量も回復していくと予想され、目標達成可能と見込んでいる。

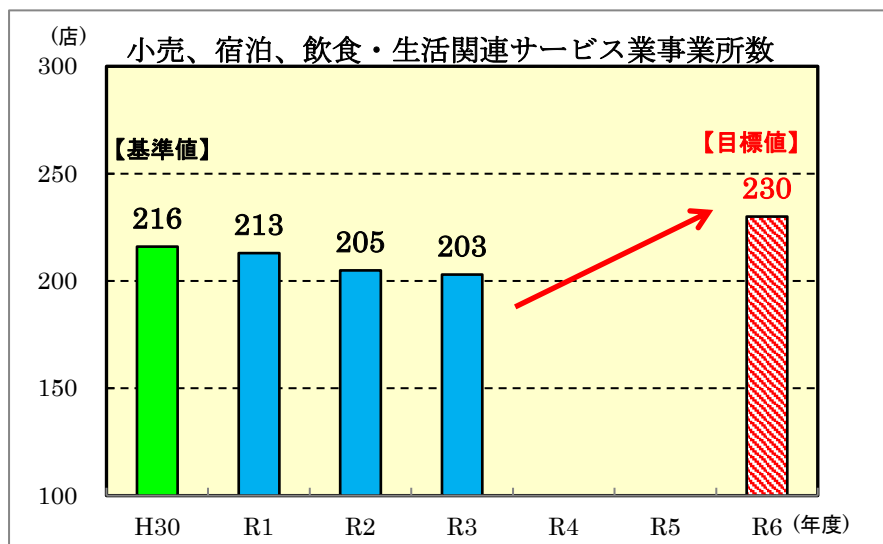
⑤の居住人口については、市内全域が減少傾向にあり、中心市街地内も減少している。しかしながら、令和3年度中に、岩国駅東口元町地区優良建築物の完成等もあったため、来年度は住人口が増加し、目標達成可能と見込んでいる。

3. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）」

※目標設定の考え方基本計画 P53・54 参照

●調査結果の推移



年度	(単位: 店)
H30	216 店 (基準年値)
R1	213 店
R2	205 店
R3	203 店
R4	
R5	
R6	230 店 (目標値)

※調査方法：机上及び現地調査を実施。

※調査月：令和4年2～3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：岩国駅周辺商店街通り区域の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ② まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③ まちなかりノベーション助成事業（岩国市）
- ④ まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）
- ⑤ まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。

	③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業で構成される事業効果を18店舗の増と見込んでいる。 令和3年度の実績としては、 ①空き店舗活用助成事業においては、当該地区で8店舗が事業を活用し、開業した。 ②まちなか店舗魅力向上助成事業においては、当該地区で1店舗が事業を活用し、店舗改修を行った。 ③まちなかりノベーション助成事業においては、当該地区で4店舗が事業を活用し、リノベーションを行った。 ④まちなか経営強化支援事業においては、当該地区で27店舗・合計99回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和4年度も引き続き、本事業を推進し、新たな出店を促進しつつ、にぎわいの創出を図る。

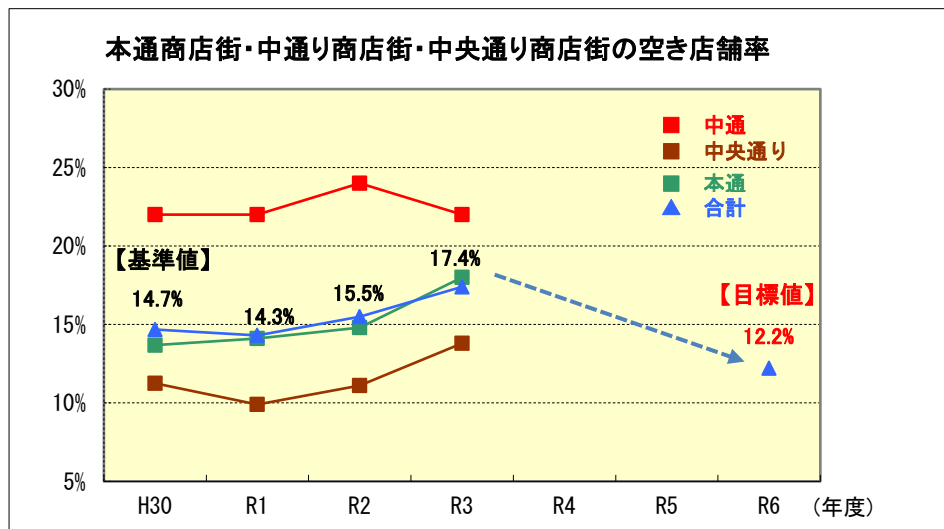
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による消費者の外出の自粛等に伴う来街者の大幅な減少等により、「まちなか再生事業」の申請は、21件に留まった。しかし、令和3年度は、ワクチン接種率の増加に伴う、消費者の外出意欲向上への期待感や、まちなか再生事業助成金も対象工事等を見直した関係もあり、申請は27件と増加した。「まちなか経営技術強化支援事業」についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来客数が減少した事業者から、集客力を上げるためのアドバイスや事業継続に向けた補助金等の申請などの相談が増加し、27の事業者に対し、延べ99回の相談支援を行った。今後の対策としては、新規創業や魅力ある店舗の増加、集客力の向上がまちの賑わいに繋がることから、「まちなか再生事業」や「まちなか経営技術強化支援事業」をより多く活用してもらうため、商工会議所や株式会社街づくり岩国と連携して周知活動に努める。

「本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率」

※目標設定の考え方基本計画 P54～56 参照

●調査結果の推移



年度	(単位:店)
H30	14.7% (基準年値)
R1	14.3%
R2	15.5%
R3	17.4%
R4	
R5	
R6	12.2% (目標値)

※調査方法：現地調査

※調査月：令和3年12月

※調査主体：岩国市

※調査対象：本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）【再掲】
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。

事業効果及び進捗状況	計画終了時の本5事業による事業効果を10店舗の増としており、空き店舗率は12.2%になることを見込んでいる。令和3年度の実績としては、 令和3年度の「まちなか再生事業」申請件数27件のうち、商店街内での活用は11件に留まり、既存事業者の経営状況の悪化等から閉店したケースなどあったため、空き店舗率上昇に歯止めをかけることはできなかった。 それでも、⑤のまちなか経営技術強化支援事業においては、27店舗・合計99回の相談を受け、様々なアドバイスにより、課題解決を促し、創業や事業継続に繋げた。
事業の今後について	令和4年度も引き続き、本事業を推進し、空き店舗率を減少させ、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

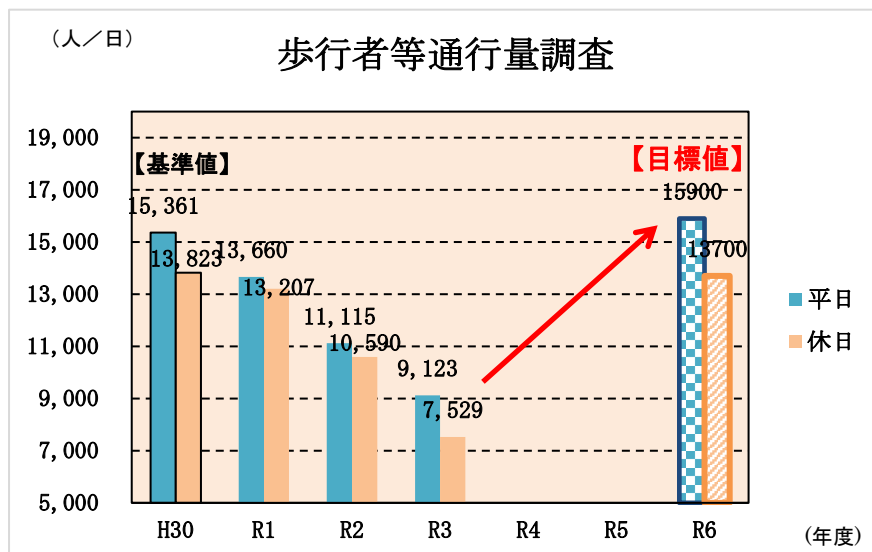
中心市街地全体では、令和2年度の「まちなか再生事業」の申請実績が21件だったのに対し、令和3年度は27件と増加し、創業や店舗の魅力向上につながったが、中心市街地内で均一的な助成の実施による商業区域の分散などにより商店街以外での創業が増加したことや新型コロナウイルス感染症拡大に伴う来街者の減少により、事業の経営が安定せず閉店した店舗の増加などにより商店街での空き店舗は増加した。

しかし、創業後の事業の安定や魅力的な事業展開を支援するためのまちなか経営技術強化支援事業においては、27の事業者のうち、17事業者から複数回の相談が寄せられ、継続したアドバイスを求める事業者が多く、延べ99回も支援を行い、創業や事業継続に寄与した。受けた支援者からの評価も好評だった。事業経営の安定が、閉店による空き店舗の減少に繋がることから、今後も、気軽に課題や不安などの相談を受け、問題解決に向けた支援やアドバイスを行っていく。

「歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P57～59 参照

●調査結果の推移



※調査方法：歩行者と自転車の通行量を毎年1月末の木曜日と日曜日に10時から19時に計測

※調査月：令和4年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内16箇所17地点

年度	(単位)
H30	平日 15,361 人/日 休日 13,823 人/日 (基準年値)
R1	平日 13,660 人/日 休日 13,207 人/日
R2	平日 11,115 人/日 休日 10,590 人/日
R3	平日 9,123 人/日 休日 7,529 人/日
R4	
R5	
R6	平日 15,900 人/日 休日 13,700 人/日 (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
--------	---

事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 684 人/日増、休日 630 人/日増と見込んでいる。令和3年度の実績としては、 ①の空き店舗活用助成事業においては、家賃補助で7店舗が認定を受けた。また、店舗改修で 11 店舗が助成を受けたのち新規店舗として開業した。 ②のまちなか店舗魅力向上助成事業においては、3店舗が助成を受けた。 ③のまちなかリノベーション助成事業においては6店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。 ⑤のまちなか経営技術強化支援事業は令和3年の実績としては、27 店舗・合計 99 回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和4年度も引き続き、本事業を推進し新たな出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

- ⑥. まちなかイベント・セミナー推進事業(岩国市・㈱街づくり岩国・民間事業者)
- ⑦. まちなか情報発信事業(㈱街づくり岩国)
- ⑧. 交通安全対策事業(岩国市)
- ⑨. 防犯設備整備事業(岩国市)
- ⑩. まちなか空間魅力向上事業(岩国市・㈱街づくり岩国・民間事業者)

事業実施期間	⑥まちなかイベント・セミナー推進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑦まちなか情報発信事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑧交通安全対策事業 平成 25 年度～令和6年度【実施中】 ⑨防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【実施中】 ⑩まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	⑥魅力あるイベントや多種多様なセミナーを開催することにより、交流人口の増加やにぎわいを創出する。 ⑦中心市街地内にある店舗、イベント情報を発信することにより、来街者の増加と回遊を促進する。 ⑧安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑨道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑩安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。

事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 44 人/日増、休日 165 人/日増と見込んでいる。令和2年度の実績としては、 ⑥のまちなかイベント・セミナー推進事業においては、新型コロナウイルスの影響でイベント・教室は減少しているが、令和2年は 32 件だったのに対し、令和3年度は 41 件と、少しずつ回復傾向にある。 ⑦のまちなか情報発信事業においては、各種支援事業の案内や新型コロナウイルス感染予防実施店舗の紹介等を行い、情報伝達に努めた。 ⑨の防犯設備整備事業においてはエリア内に 17 台の防犯カメラを設置した。
事業の今後について	令和4年度も、イベントの開催、情報伝達を促進することで、にぎわいの創出を図る。

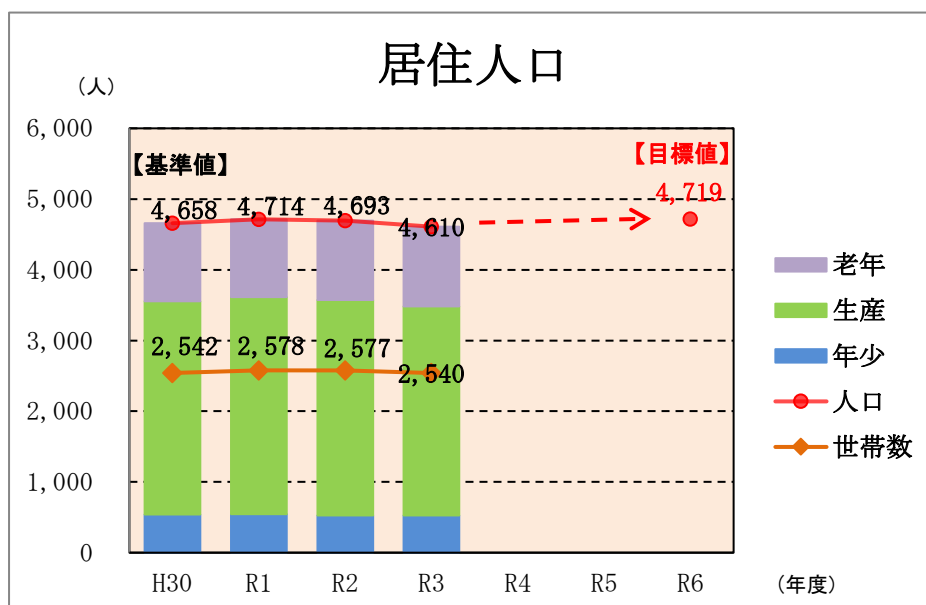
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等の影響による来街者の減少や、歩行者等通行量調査実施時期が「山口県まん延防止等重点措置」区域に指定期間と重なるなど、昨年度に比べ、数値は悪化した。しかしイベントに関してみると、前年度に比べ増加しており、来年度以降も、感染者数が低い水準を維持すれば、イベント数等も増加し、歩行者等通行量の回復も見込まれるため、情報発信を促進する。

「居住人口」

※目標設定の考え方基本計画 P59～60 参照

●調査結果の推移



年度	単位：人
H30	4,658 人 (基準年値)
R1	4,714 人
R2	4,693 人
R3	4,610 人
R4	
R5	
R6	4,719 人 (目標値)

※調査方法：人口データ

※調査月：令和3年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象： 中心市街地内の居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業（株いきいき東）
- ②. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなか商業施設等建築促進事業（岩国市）【再掲】
- ④. 防犯設備整備事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. 交通安全対策事業（岩国市）【再掲】
- ⑥. まちなか空間魅力向上事業（岩国市・株街づくり岩国・民間企業）【再掲】

事業実施期間	① 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業 平成 30 年度～令和3年度【完了】 ② まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③ まちなか商業施設等建築促進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④ 防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【完了】 ⑤ 交通安全対策事業 平成 25 年度～令和6年度【実施中】 ⑥ まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	① 岩国駅東口に交流施設および共同住宅を整備することで、にぎわいの創出及びまちなか居住を促進する。 ② 不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ③ 不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ④ 道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑤ 安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑥ 安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。
事業効果及び進捗状況	本6事業による事業効果により、これまでの傾向を踏まえた増加を見込んでいる。令和3年度の実績としては、 ①の岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業については、令和 4 年3月に完成し、41 戸すべて完売している。 ②まちなかりノベーション助成事業においては6店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。
事業の今後について	令和4年3月に岩国駅東口元町地区優良建築物の完成したことにより、来年度は、居住者が増加する見込み。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和 3 年度では居住人口は市内全域程ではないが、中心市街地内も減少傾向にある。しかしながら、令和 4 年 3 月に、岩国駅東口元町地区優良建築物が完成したため、それに伴い、来年度は居住人口が増加する見込みである。